

「CI (Composite Indexes) と DI (Diffusion Indexes)」

景気動向指数には、CIとDIがあります。今回は、この指数について説明します。

1. CIとは

CIとは、景気変動の大きさや量感を示す指数です。基準となる年を決めて、その基準年と比べてどれくらい景気に変化したかを調べ、景気変動を量的に把握します。基準となる年を100として、指数が100より上昇していれば景気拡大局面、逆に100より低下していれば景気後退局面であることがわかります。また、その指数の変化の大きさが、景気の拡張や後退の大きさを示します。因みに、内閣府が公表している「2020年11月分（速報）の景気動向指数」においては、2015年の値を100として算出しています。

2. DIとは

DIとは、景気動向の方向性を示す指数で、各指標の数値が上昇しているのか、低下しているのかを調べます。採用した指標を3カ月前の数値と比較して、改善（プラス）、変化なし（横ばい状態）、悪化（マイナス）に分類し、改善を1、変化なしを0.5、悪化を0としてそれぞれを合計して採用指標数で割って計算します。指数が50%を超えれば景気が上向き、50%を下回れば景気が下向きと判断します。

3. CIとDIの違い

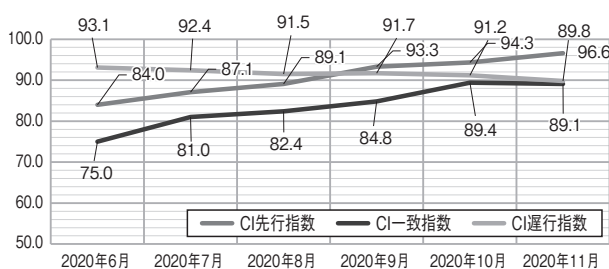
DIは、景気各経済部門への波及の度合いを表す指標であり、各採用系列が大幅に拡張しようと、小幅に拡張しようと、拡張系列数の割合が同じならば同じ数値が測定されます。CIは、景気の強弱を定量的に計測する指標であり、DIが同じ数値で計測されたとしても、各採用系列が大幅に拡張していればCIも大幅に上昇し、各採用系列が小幅に拡張しているならばCIも小幅に上昇します。このようにCIは、DIでは推測できない景気の山の高さや谷の深さ、拡張や後退の勢いといった景気の「量感」を測定することができます。

一方、DIが異なる数値で測定されたとしても、多くの系列で小幅に拡張した時と、一部の系列が大幅に上昇した時とで、同じCIの上昇幅が得られる場合があります。このように、CIの変化幅そのものからは各経済部門への波及度合いの相違を把握することが難しいため、CIの変化幅に対する各採用系列の寄与度やDIを合せて利用することが必要です。なお、現在はCIを中心とした公表形態となっています。

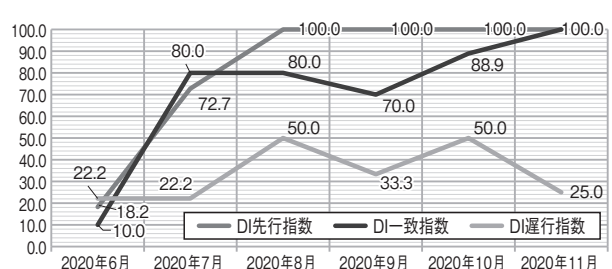
内閣府公表の「景気動向指数令和2（2020）年11月分（速報）」により当研究所にて作成した図表1がCI指数の推移、図表2がDI指数の推移です。2020年11月をみるとCI一致指数は、89.1と2015年と比較して0.891倍の景気動向指数で、DI一致指数は100で景気回復局面となります。

なお、CIとDIには、それぞれ、景気に対して先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数があります。

図表1 CI指数の推移



図表2 DI指数の推移



内閣府公表の「景気動向指数令和2（2020）年11月分（速報）」により当研究所にて作成

閑話ひとつ

- ▶ コロナ禍で健康維持のため運動しようということで散歩をすることが多くなった。体力向上に効果的な方法はないか探してみると、インターバル速歩を知った。ややきつく感じる早歩きとゆっくり歩きを3分間ずつ交互に繰り返すウォーキング法。適度な負荷が必要ということのようだ。3分置きというのもみそだ。強弱の妙で効果もやる気も出る。10歳若返る！シャキッとした体へ！この響きにも魅せられて続ける。
- ▶ 一方で、もう少しのんびり楽しみながら歩けないかとも思う。歩いている途中の草花の名前がわかたら…。スマホで写真を撮ると名前を教えてくれるアプリがあるということを知った。それを入れて、庭の草木、散歩コースの草花を撮るとちゃんと教えてくれる。自分の周りの植物の名前がわかるのは楽しい。景色が変わり、知る楽しみが増えたような感じがする。AIの時代はいろんなものが便利になるが、特に博物学的なものはAIと相性が良い。自宅の観賞用苔を撮ったら、乾燥していますという答えが返ってきたのには驚いた。
- ▶ 旅先で写真を撮って花の名前がわかるのも楽しいだろう。早く気兼ねなく旅に出られるといい。 (HS)